

重点戦略3 未来を先取る活力ある「まちづくり」プロジェクト 515,288千円

まちの人口規模の維持および人口構造の確保に向けては、若者や高齢者を含めた各年代の人口構成が適切に維持され、多様な人々の活動が活発に行われるとともに、地域交通や道路などの社会基盤の整備が重要になることから、将来を見据えた持続可能な「まちづくり」を進めます。



とりわけ令和6年度は、「国スポ・障スポ2025」の開催に向けた一体的なプロモーション戦略の実施に加え、まちの認知度・魅力度を高め、新たな人の流れを創出します。

また、庁舎リニューアルに伴う利便性の高い行政サービスを提供するとともに、地域における防犯・防災力を高め、安全で安心な地域社会の構築に取り組みます。

さらに、国の「デジタル田園都市国家構想」を踏まえた第3期目となる地方版総合戦略の策定に取り組み、さらなる地方創生の加速化・深化に取り組みます。

[主な取組]

- まち・ひと・しごと創生事業 **拡充** 3,219千円 [みらい創生課]
- 移住・交流事業 **拡充** 46,468千円 [みらい創生課]
- 地域資源を活かした多様な人材による共創型課題解決プロジェクト
(愛荘町ゆかりの資源を活かした戦略的広報事業)
- 防犯事業 **拡充** 4,410千円 [みらい創生課、商工観光課]
- 河川改修等事業 **拡充** 1,511千円 [くらし安全環境課]
- 空家対策事業(適正管理) **新規** 6,000千円 [建設・下水道課]
- 国スポ・障スポ開催準備事業 **継続** 337千円 [建設・下水道課]
- 庁舎等リニューアル事業 **拡充** 71,664千円 [生涯学習課]
- デジタル化推進事業 **継続** 366,832千円 [経営戦略課]
- **継続** 14,847千円 [経営戦略課、住民課]



移住相談会(大阪ふるさと暮らし情報センター)



「書かない窓口」で、はやく・やさしく・簡単に!

▼第9回弘済会 しが教育賞 表彰式(滋賀県庁)



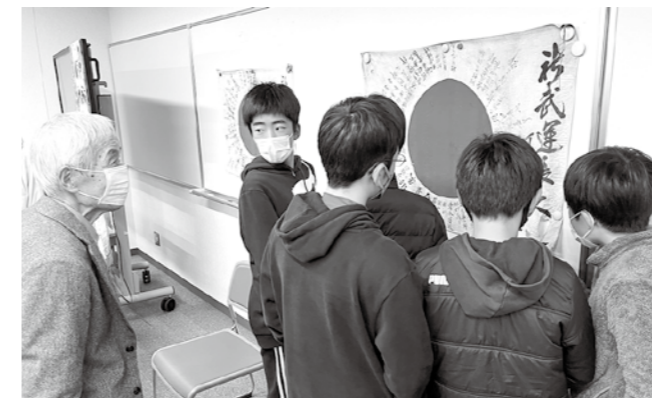
秦荘西小学校の取組が県教育長賞に選ばれました

秦荘西小学校のボランティア活動が、第9回弘済会しが教育賞の学校部門で、県教育長賞に選ばれ、田中校長が福永教育長から表彰を受けました。

秦荘西小学校では、児童のやる気と周囲への思いやりの心を後押しすることを目的に、校庭のごみ拾いやボランティア活動等、児童の日常的な善行に対して、秦西スマイルカードを発行し、その活動をスマイル活動としてカードにスタンプを押す仕組みを導入されています。

秦荘西小学校は、この取組を通して、子どもたちの自主性・主体性を伸ばし、未来に花咲く、自律的な子どもの育成を目指しています。

▼「出征旗」の説明を聞く児童たち



秦荘西小学校 戦争体験を子どもたちに

2月5日、愛荘町遺族会による、秦荘西小学校6年生の戦争体験の聞き取り学習が行われました。

この学習は、社会科の平和学習の一環として行われたもので、愛荘町遺族会の方から戦争中の暮らしや戦後の日本の様子について、当時の資料をもとにお話いただきました。

児童たちは、出征する人の無事を祈る出征旗や、戦場から家族に宛てられた手紙を実際に読むことで、戦争の悲惨さや恐ろしさを感じ取り、改めて平和の大切さを考えました。



▼功労者表彰を受賞された小椋さん(写真左)



近畿スポーツ推進委員協議会長から功労者表彰

2月3日、令和5年度近畿スポーツ推進委員研究協議会が堺市民芸術文化ホール(大阪府)で行われました。

地域のスポーツ振興に長年貢献いただいている愛荘町スポーツ推進委員 小椋 一平さん(杏掛)が、近畿スポーツ推進委員協議会長から功労者表彰を受賞され、徳田教育長から賞状が伝達されました。

小椋さんは、平成14年から現在まで、スポーツ推進委員として継続して活動を続けられ、うち7年間は副委員長として活動されています。

この度、生涯スポーツの普及促進に貢献された活動の功績を認められ、表彰されました。

▼湖魚の調理方法を説明する谷口さん



～湖魚を食べよう～食育セミナーと学校給食試食会

2月6日、食育セミナーと学校給食試食会が給食センターで行われ、滋賀県水産課の谷口さんから滋賀県内の学校給食における湖魚食材について講義いただきました。

谷口さんは「家庭で湖魚を食べる機会が減っているので、子どもたちに学校給食を通して、地元の食材や伝統食を食べてもらいたい。簡単な調理方法もあるので家庭でもチャレンジしていただきたい」と話されました。

セミナー後は、学校給食の試食が行われ、実際に湖魚を使ったあゆの佃煮やセタシジミのしじみ汁などが並び、参加者は湖魚料理をおいしく味わいながら、湖魚食文化の理解を深めました。